

## 市長・市民活動団体の懇話会

### 一緒に考え、共に行動する

さる7月18日午後6時から市民活動サポートセンターで市長と市民活動団体との懇話会を開催しました。

出席した11分野、55の市民活動団体の代表は1分間のリリーススピーチで活動を紹介し、提言や熱い思いを市長に直接アピールしました。この会場の熱気に市長は一言、「すごい」とストレートに感動を表現。懇話会には約160名の人々が参加しました。

意見交換の中で、服部市長は「行政で補え切れぬところは皆さんに助けて欲しい。皆さんの力や知恵を是非お貸しいただきたい」ときわめて率直に協力を要請されました。同時に行政側の取り組み姿勢については、市民の皆さんと「共働」していくという職員への意識の徹底を図ってゆきたいと、決意を述べられました。

市長は「今日この場で皆さんの声を聞き、心強く思い、頑張ろうという気持ちを強くした。市民の皆様からの一層の協力をいただきたい」と今後の行政への協力を繰り返し要請された。出席された方々も茅ヶ崎市の進むべき方向をともに共有できたように感じられたようです。

参加した活動団体からは「多くの団体を知ることができてよかった」「スピーチ時間が短いため広く浅い内容になってしまった」「次回は担当職員も交えた分野別、テーマ別の懇話会開催を望む」「市長と市民活動団体が直接話し合えて良かった」「サポートセンターが市に対しての各種要望の窓口になってほしい」との声も出されました。



## NPO法人になりました

私たちは、今年6月、「特定非営利活動法人茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会」略称(NPOサポートちがさき)となり茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営を受託しています。同センターは、非営利で社会に貢献する活動を支援する施設として、2002年4月に開館しました。当初、茅ヶ崎市の公募に応じた市民19名が任意団体として管理運営してきましたが、中間支援組織として責任をもって継続的に事業を行うために、公的な法人になりました。

NPO(非営利活動組織)が互いに学び、連携し、それとともに行動する市民が増えてこそ「市民が主役」と言えます。そのために、情報・交流・相談・人材育成の支援も行っています。

今後は、ネットワークの拡充やNPO法人のニーズにも応えられるソフト面のメニュー開発等を課題として、市民・企業・教育機関・行政それぞれがもつ資源をうまくつなぎ合わせる仲介役を担いながら、市民提案型のまちづくり活動の支援、市民の力を市民が支える仕組みの提案、政策提言の支援なども行いたいと考えています。

今年の主な事業として、市長との懇話会をはじめ、NPO実務講座・パソコン活用講座の開催、市民活動団体ガイドブックの企画・編集、ホットな情報紙「サポセンニュースレター」NPOやボランティアに役立つ情報誌「アイドゥ」発行、各種相談を予定しています。

# 情報ひろば

市民活動に関わるイベントや講座、ボランティア募集など市民の皆さんに役立つ情報を掲載します。また掲載希望の方は**奇数月15日**までにサポートセンターへ情報をお寄せ下さい。

\*掲載情報についての詳細は各イベント主催団体等へ直接お問い合わせ下さい。

## イベント

### なぎさ会

糖尿病及びその他の生活習慣病の治療並びに予防に関する知識の向上、会員相互の親睦、福祉の増進を図る事を目的としています。

**卓球会** 8月7日、14日、28日

旧市体育館 13:00~16:00 会費 100円

**ボウリング会** 8月21日 14:00~16:00

ビックウェーブ(今宿) 会費 1000円

**囲碁教室** 8月17日 13:00~16:00

ふれあいクリニック浜見平 年会費 1000円

**料理教室** 食事療法、管理栄養士の指導のもと  
年3回女性センターで実施

**なぎさ会会報** 年3回発行

月間糖尿病ライフ<さかえ>500円

神奈川県糖尿病協会発行<しんとう>

**さかえ、しんとう**は発行月毎に会員に発送

問合せ ふれあいクリニック浜見平内

0467-58-5900

### ジャズライブを聞こう会

**タイトル:スタンダード、名曲アルバム**

ジャズの演奏で過去から現在までの長い期間、多くのプレイヤーに演奏され続けている曲を一括してスタンダードと呼んでいます。

その中でも特に有名ナンバーを茅ヶ崎出身で情熱のトランペッター松島敬之と叙情的な宇山恭平のギター、冷厳な澤田一範のアルトサクスをフロントに据えたバンドが演奏します。

日時 8月22日(金) 19:00 開演

場所 海老名プライムホール(海老名駅東口  
徒歩6分)

費用 3000円

問合せ ジャズライブを聞こう会

0467-85-9069

### ちがさき環境フェア 2003

**「いま、わたしとあなたのできること」**

今年で3回目を迎えた「ちがさき環境フェア」は今年も楽しいイベントが盛りたくさんの内容になっています。どうぞご家族そろってお越しください。

日時 8月8日(金) 13:00~20:30

9日(土) 9:00~17:00

場所 茅ヶ崎市民文化会館

内容 環境映画会『ゲース』

8日(金) 18:30~20:30

枝廣淳子さん(環境ジャーナリスト)

講演会「親子で出来るエコライフ」

& 萩園中学校学習発表会

9日(土) 9:30~11:30

環境展

8日(金) 13:00~18:00

9日(土) 9:00~17:00

主催 茅ヶ崎市

環境市民会議「ちがさきエコワーク」

問合せ 市役所環境政策課 0467-82-1111

### 茅ヶ崎万歩クラブ

内容 健康づくりのための歩こう会

日時 毎月第3日曜日

場所 行き先は県内、集合場所は変わります

参加 誰でも自由参加で、参加費は500円まで

入会 例会当日可

会費 年間3000円

会報 下記の場所に毎月20日前後配布

市役所受付、茅ヶ崎駅観光案内、市体育館

茅ヶ崎市民活動サポートセンター

問合せ 茅ヶ崎万歩クラブ 大関まで

0467-51-9375

## 第1回もっとまっち夏まつり

日時 8月30日(土)10:00~16:00  
場所 元町商店街、元町ケアセンター  
日本精麦後地の3カ所  
内容 フリーマーケット、パフォーマンス  
スタンプラリー、無料医療相談  
パネル展示、相談コーナー、手作り作品  
センター見学、コーヒー・クッキー等  
主催 もっとまっち夏まつり実行委員会  
参加団体 元町ケアセンター・元町の家・凡樹瑠  
やすらぎの家・元町商店街・ほっと茅ヶ  
崎準備室  
問合せ ほっと茅ヶ崎準備室 070-5454-1491

## 松林公民館創立20周年記念行事

昭和58年に創立の松林公民館は今年で20周年を迎えました。これを記念する講演会と各種イベントが8月22日から3日間、同公民館で開かれます。

8月22日(金)講演会・討論 10:00~12:00

「青少年育成のための様々な関わり方 現状への老壮年の寄与はどうあるべきか」

角田 明氏(緑が浜小学校長)講演後の討論のため、意見、主張を8月15日まで募集中。

8月23日(土)講演会 10:00~11:30

「身のまわりの微生物 - 健康から環境まで」

蓮田勝美氏(医博,長崎大・日本歯科大非常勤講師)

8月24日(日)講演会 10:00~11:30

「高齢化社会における地域福祉・介護について」

小笹貴夫氏(小笹医院院長、松林ケアセンター所長、聖マリアンナ医科大非常勤講師)

各種イベント 8月22日~24日午後

子供向け映画(22日)、折り紙教室(23~24日)、民話、和太鼓、マジックショー、ハワイアン、マンドリン・ギター演奏(23日)、コーラス・ハーモニカ演奏、ジャズ・ポップス演奏(24日)



## 成人吃音(どもり)サポート ジークフリーツ

『うみ・夕焼小焼・さっちゃん等』すぐれた童謡をみんなで歌い、感じたままを受け止める大切さと表現する喜びを味わいましょう。音楽が持つ生理的・心理的・社会的作用の力を借りて、楽しく自由な雰囲気の中、主体的に問題に取り組む場を提供します。

『童謡唱歌を楽しもう』全5回

日時:8月9日(土)から毎月第2土曜 10:00  
場所:楽庵 浜竹3-4辻堂西口1分  
モスバーガー2階

参加費:2000円(茶菓・資料代込)

講師:松田真奈美 言語聴覚士 同席

連絡先:090-1859-0070

E-mail polonjp@yahoo.co.jp

## ボランティア

### スケートボランティアの募集

スペシャルオリンピックスという知的障害者のスポーツ団体で、2005年には日本で初めての冬の世界大会が開催されます。現在8歳から20代のアスリートがスピードとフィギュア種目のエントリーを目指していますが、一人でも多くの障害者がスポーツを通じてさまざまな可能性を広げる事が出来るよう皆様の理解と協力をお願いしたいと思います。スケートが好きなら誰でもボランティアできます。

日時:毎月1~2回 日曜・10:00~12:00

場所:神奈川スケートリンク・滑走料500円

問合せ:TEL・FAX 0467-86-6342 伊藤まで

### 染色、はたおりボランティアさん募集

茅ヶ崎市内に新しい障害者の施設ができました!知的障害者の方や身体障害者の方と一緒に活動して下さる方を募集しております。

染色やはたおりの補助やお手伝いをして下さる方、はたおりで織った布地や染色で染めた布地をミシンで作品に仕上げのお手伝いをして下さる方。

活動時間 月曜日~金曜日 10:30~15:30

-都合のいい曜日,時間出来れば週1回程度定期的に来て頂ける方

問合せ 小規模授産施設 studio UZU

茅ヶ崎市甘沼 856-3

0467-54-0046 FAX 0467-54-0047

E-mail: hao33410@rio.odn.ne.jp

# ちがさき市民活動 サポートセンター

## 募集しています

当センターではホームページの作成、維持管理の出来る人材を募集しています。ボランティアで作業していただける方はぜひ応募ください。

## ご相談ください

当センターは、ハード面としての施設利用と、ソフト面として活動団体への助言、支援活動を行っております。このところ、問い合わせ、相談、紹介仲介が増え、6月の実績は31件、NPO法人格取得の効用や、活動中の事故に対する保険について、介護事業とボランティア事業の会計処理等の相談がありました。

そのほか活動に必要な支援団体の紹介などがあります。活動する上で「はてな」と思案するときは是非当センターを思い浮かべてください。

## 利用者の声

### Q：他団体の活動や今までの経緯を知りたい

A：当センターでは各団体から寄せられたチラシ、会報など、その団体毎にファイリングして活動メモリーとし書棚に分野別に並べております。このファイルは各団体の規約、総会資料、活動記録など自由にファイルして頂き大勢の人にあなたの団体を紹介したいと思いを陳列しております。内容を充実させるため資料をお寄せください。

### Q：情報コーナーに団体のイベントを載せたチラシを置きたいのですが

A：団体の活動を広く知ってもらう場として活用してください。掲示は最長3ヶ月間としております。チラシは20枚ぐらい、またポスターがあれば尚効果的ですのでおもちください。これらの情報は館内にイベントニュースとして、毎月月初めに1ヵ月分を掲示し、イベントの週は今週のイベントとして掲示、さらに当館のホームページにも掲載します。なるべく早めに持参してください。

### Q：子どもを連れてセンターで会議をしたいのですが

A：プレールームのご利用ができます。会議中に子どもさんだけで利用する場合は必ず大人の方1人付き添いをお願いいたします。又プレールーム内には簡易ベッドやおもちゃなども有りますし、ここでの会議も出来ますので窓口に声を掛けて下さい。

さまざまな分野の市民活動やNPO、ボランティアなど非営利で社会に貢献する活動をしている人、これから始めたい人達のための拠点施設です。

開館時間 午前9:30～午後9:30

休館日 毎月第3水曜日

年末年始 12/28～1/3

## サービスメニュー

**フリースペース** 会議・打ち合わせ(予約不要)

### 作業コーナー

印刷機 (紙持込1製版500枚まで1000円)

紙折機 (無料)

コピー機 (1面100円)

ラミネート (A3/200円、A4/100円)

**無線LANパソコン** 作業用貸出し・情報検索(無料)

**ロッカー** 貸料 月200円

**レターケース** 郵便物/FAXの仲介可(無料)

市民活動やボランティア関連情報の提供

ちらし・ポスターの展示・掲載(要申込/無料)

市民活動やボランティアに関する相談・助言

市民公益活動団体データベース登録・随時受付

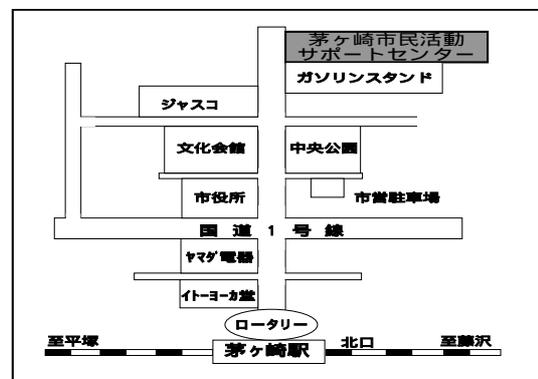
## アクセス

〒253-0041 茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7

TEL&FAX 0467-88-7546

E-mail [s-center@pluto.plala.or.jp](mailto:s-center@pluto.plala.or.jp)

URL<http://business2.plala.or.jp/suppot>



この「News Letter」は、年6回偶数月の1日に発行いたします

イラストは柴田香織さん

## 助成金情報

### 情報がつむぐ“人のきずな”

#### ITの活用による市民活動を応援します

情報がつむぐ“人のきずな”をテーマに情報技術の活用によって人と人を結びつける市民活動を支援するもので、マイクロソフト株式会社が助成金及び必要なソフトウェアを提供し、市民社会創造ファンドが企画協力、募集、選考等行っています。

#### 助成の対象となる団体

- \* 日本国内で活動するNPO
- \* 1年以上の活動実績を有すること
- \* 基本的なITの使用が可能なこと

助成期間 2004年1月1日～12月31日の1年間

助成金額 300万円以内

応募期間 2003年7月25日～8月31日

応募方法 所定の申し込み用紙により郵送

申し込み 〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-6-1古河ビル616

特定非営利活動法人市民創造ファンド

「マイクロソフトプログラム係」

TEL03-5220-2101 FAX03-5220-2102

### 草の根ともしび運動促進援助事業

「ともに生きる」福祉社会づくりをすすめる草の根の活動を「ともしび基金」により支援します。

#### 支援対象

- \* ふれあいと相互理解を広げる活動
- \* 障害者や高齢者等の余暇や日常生活をサポート
- \* 健康でいきいきと学び、社会参加することを促進
- \* 誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる活動
- \* 社会参加のための情報と人のネットワークづくり
- \* 地域で国際理解をすすめる活動
- \* その他「ともに生きる」社会づくりをめざす、ともしび運動を広げる活動

助成金額 おおむね10万円を限度

募集・申請 締め切りの時期は定めておりませんが  
詳細は下記に

問合せ (財)かながわともしび財団・事業課  
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
かながわ県民センター15階  
TEL 045-312-1121 FAX 045-320-2966

## 2003年度チャリティープレート助成金

#### 実施団体

#### 特定非営利活動法人日本チャリティープレート協会

助成内容 障害者が通う自立生活センター、グループホームや小規模作業所などで、特に緊急性が明確である団体またはグループに、設備、備品、車両の助成を行う。

助成期間 単年度事業

応募資格 2002年度の4月1日までに設立され、すでに活動を開始している  
年間総予算が1500万円を超えない  
事業収入が500万円を超えない  
公費助成率が総予算の60%を超えない  
社会福祉法人および財団法人は特別の理由がない限り対象としない

助成金額 1件あたり50万円を限度とする

応募 締切日 2003年8月29日(必着)  
一時審査、二次審査等あり詳細は下記に  
〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-18  
アテナビル2階

特定非営利活動法人日本チャリティープレート協会  
事務局：豊田

TEL03-3381-4071 FAX03-3381-2289

### 大和証券福祉財団

応募資格 ボランティア活動を目的とした団体及びグループ(社協等の推薦が必要です)

応募課題 特に在宅老人、障害児・者、児童問題に対するボランティア活動

助成金額 30万円を上限 総額5000万円

対象期間 平成16年1月～12月の活動に対して

応募期間 平成15年8月1日～平成15年9月15日

応募方法 所定の申し込み用紙により財団宛応募  
申し込み 〒103-8219

東京都中央区日本橋茅場町1-1-9

大和証券兜町ビル

財団法人 大和証券福祉財団

問合せ TEL 03-3665-5147 FAX 03-3662-0495

## 文教大生のボランティア活動に支援のお願い

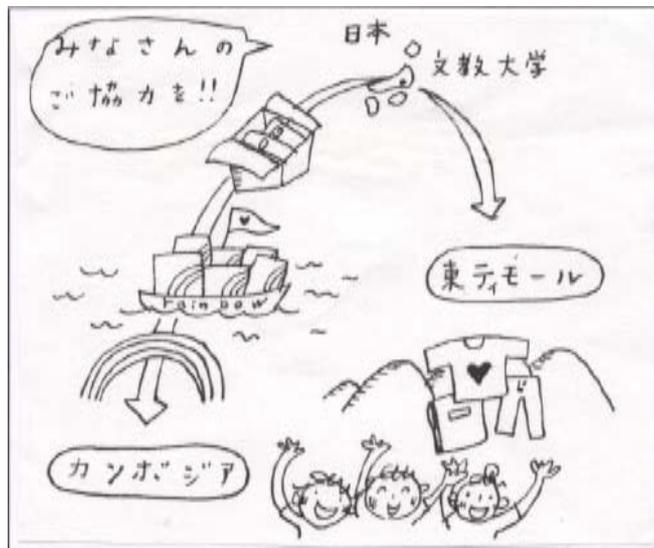
Team One

文教ボランティアーズ

文教大学グローバルサークルボランティアグループ「Team One」は3年前に、国際学部の学生が集まり活動をはじめたグループです。現在、メンバーは45名、リーダーは佐治恭子さん(国際学部4年生)。

主な活動は「学内で、東南アジアの留学生との交流を通して文化やライフスタイル、人間関係の理解を深める交流活動」と「NGOケアジャパンの海外支援事業(レインボー事業)に参画、カンボジアの子供たちへの学用品の支援」に取り組んでいます。

今年も、現地の子供たちの喜ぶ姿を思い描きながら、多くの人からの提供品で満たされた「レインボー箱(文房具や学用品など)」を9月の新学期に向けて一つでも多く届けたくエネルギーに活動しています。現在校内や市内各所に支援品を提供していただく「レインボーボックス」を設け、市民や活動団体の協力をお願いしています。



「文教ボランティアーズ」は文教大学国際学部の中村恭一教授のゼミ(国際紛争専攻)で学ぶ有志学生が中心になっており、国連が関与して復興活動を進めているバルカン半島の旧ユーゴスラビアのコソボやボスニア・ヘルツェゴビナ、さらには東ティモールで支援活動を行なっています。

特に昨年からはじめた東ティモールの山村バギア 孤児院に対する衣類、文房具などの物資支援活動を今年も計画しており、孤児院に持ってゆく支援品として

家庭で使用されていない夏物の子供衣料や文房具などの収集に奔走しています。

そして、こうした支援物資の収集範囲をさらに広げようと、文教ボランティアーズでは茅ヶ崎市民や活動団体の支援、協力を強く求めています。

サポートセンターにも受付箱「Team One」「文教ボランティアーズ」を置き、市民の皆様からの提供品を受け付けています。多くの皆様からの支援をお願いします。

**提供して頂きたい品物：**新品、未使用又は新品同様のものをお願いします

**画材**《学校の図工・美術の事業に使われます》

色鉛筆、クレヨン、クレパス、絵の具、絵筆、パレット、図画帳

**文房具**《子供たちに直接配られます》

鉛筆、ボールペン、消しゴム、ノート、カラーペン、手動鉛筆削り

**運動用具、その他**

バレーボール、サッカーボール、楽器(リコーダー、ピアノカ、鈴、カスタネット)

**衣料品**《子供たちに直接配られます》

夏物子供服(3歳~15歳児を対象)Tシャツ、短パン、スカート

上記以外のものは関税の対象になり引取り側で問題が生じますのでご注意ください

**提供品受付期間：**2003年8月1日~8月31日

**受付場所：**サポートセンター受付箱 「Team One」  
「文教ボランティアーズ」